

わくわく

11月号

本だな

1 2 3 年

ホームページも
みてね！



えほん



E『 どうぞめしあがれ! 』

佐野・ブーゼルダ・マリア／原案 松田奈那子／文と絵 ほるぷ出版
マリアは、モロッコという国に住んでいます。マリアのお母さんは、日本人です。日曜日、友だちのアミンがパスティラ（モロッコのでんとうりょうり）をおすそわけしに来てくれました。次の日曜日。今度は、マリアがとりのからあげをおすそわけしに行きます。「シュ克蘭！（ありがとう）」「ビサハウラハ！（どうぞめしあがれ）」モロッコでは、おいしいものをみんなで分け合います。

K913『 ねこねこがっこう 』

莉田澄子／作 つちだのぶこ／絵 文溪堂
ゆうくんが、うちをぬけだしたねこの〈にゃお〉の後をつけていくと、ついたのは日曜日の学校でした。休みの日の学校は、ねこでいっぱいです。にゃおは、ゆうくんに「ねこねこがっこうにきちゃだめだよ」と言いました。ねこの学校にいる間だけ、ゆうくんはねこの言葉がわかるのです。

ものがたり



K913『 センニンじいさんしゅぎょうちゅう! 』

横田明子／さく おしのともこ／え 国土社
右足をけがしてしまったリョウマは、サッカークラブの先発メンバーにえられませんでした。自分が出ないしあいなんて、意味がない！ リョウマはくやしくて、友だちにひどいことを言ってしまいます。しあい当日、リョウマはグラウンドへ行かずに、川原に下りました。するとそこで、センニンと名乗るおじいさんと出会います。おじいさんは、リョウマがなやんでいることを見ぬいて、心がかかるくなるじゅつを見せてくれました。

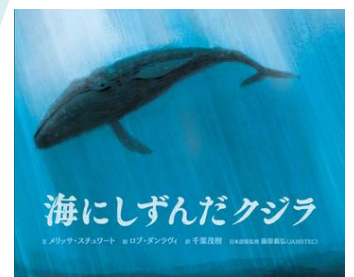
ものがたり



E『 海にしずんだクジラ 』

メリッサ・スチュワート／文 ロブ・ダンラヴィ／絵
千葉茂樹／訳 BL 出版
一頭のクジラが死に、海のそこにしずみました。クジラのからだは、深海にくらすさまざまな生き物に食べられ、多くの命をささえます。海のそこで、命がつづいていく様子をしょうかいします。

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ

く

わ

く

11月号

本

だ

な

4

5

6

年

ホームページも
みてね！



K933 『海のこびととガラスびんの伝説』

でんせつ

サリー・ガードナー／作 リディア・コーリー／絵
中井はるの／訳 ポプラ社

物語

海のこびとたちは、人間が捨てたものを使って楽しく暮らしています。ある日、冒険家ティドルダムが数年ぶりに帰ってくることを知ったこびとたちは、かんげいする準備を始めました。こびとたちが暮らすラビッシュ島では、特別な仲間をむかえるとき、10本のガラスびんでできたボトルラーマという楽器を演奏します。こびとたちは、ティドルダムが島に着く前にボトルラーマを完成させようと、島中のガラスびんを一生懸命探しました。

物語

K933 『このすばらしきスナーグの国』

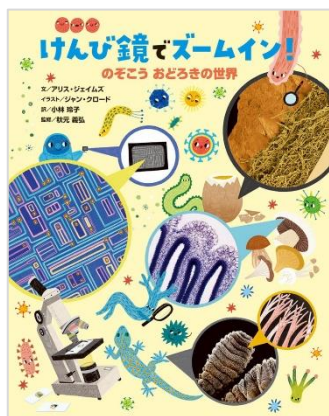
E. A. ワイク=スミス／原作 ヴェロニカ・コッサンテリ／作

野口絵美／訳 徳間書店

フローラとピップは、身寄りのない子が暮らす施設で暮らしています。ある日、フローラは、あやしい女と大男にさらわれそうになりました。二人はにげていくうちに、別世界へと迷いこんでしまいます。そこには施設をクビになった〈スナーグ〉のゴルボがいました。スナーグとは、人間より体が小さく、少しまぬけだけれども心優しく、勇敢な種族のこと。規則だらけの施設へ帰りたくない二人は、ゴルボにスナーグの国へ連れていって、とたのみます。



ちしきの本



K460 『けんび鏡でズームイン！ のぞこう おどろきの世界』

せかい

アリス・ジェイムズ／文 ジャン・クロード／イラスト
ジョセフ・シャトルワース／原書監修 岩崎書店

あなたは、部屋のすみにたまったほこりが何でできているか知っていますか？ けんび鏡を使ってよく見てみると、かみの毛、小麦粉、植物のかけら、花粉、人間のひふまで、いろいろなものでできているのがわかります。この本では、砂糖や氷の結しよう、池の水にひそむ小さな生き物たち、私たち人間の細ぼうの形などを、拡大した写真と一緒に紹介しています。

身近なものから普段は見えないあんなものまで、けんび鏡を使ってズームイン！ あなたも発見の旅へ出かけましょう。

図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200